

ビール大麦「スカイゴールデン」を 有望品種として選定



左:おうみゆたか 右:スカイゴールデン

「スカイゴールデン」の特性

品種名	スカイゴールデン	おうみゆたか
成熟期 (月/日)	5/25	5/24
稈長 (cm)	84	87
子実収量 (kg/10a)	428	414
子実蛋白質 含有率(%)	11.7	10.6

開発のねらい

県産ビール大麦では、子実の蛋白質含有率の向上が実需者から強く求められています。そこで、蛋白質含有率が高く栽培しやすいビール大麦の有望品種「スカイゴールデン」を選定しました。

新技術の概要

- 「スカイゴールデン」は、これまで栽培されてきた「おうみゆたか」より子実の蛋白質含有率が約1%高いビール醸造用の品種です。
- 「おうみゆたか」とほぼ同時期に成熟する早生品種で、稈長はやや短めです。
- 子実収量、外観品質は「おうみゆたか」とほぼ同じです。

活用場面

平成25年に県の地域適用優良品種に採用され、26年の秋播から農家の一般栽培が始まります。実需者のニーズにマッチした高品質なビール大麦の安定供給が可能になると同時に、本県の水田農業の発展につながります。